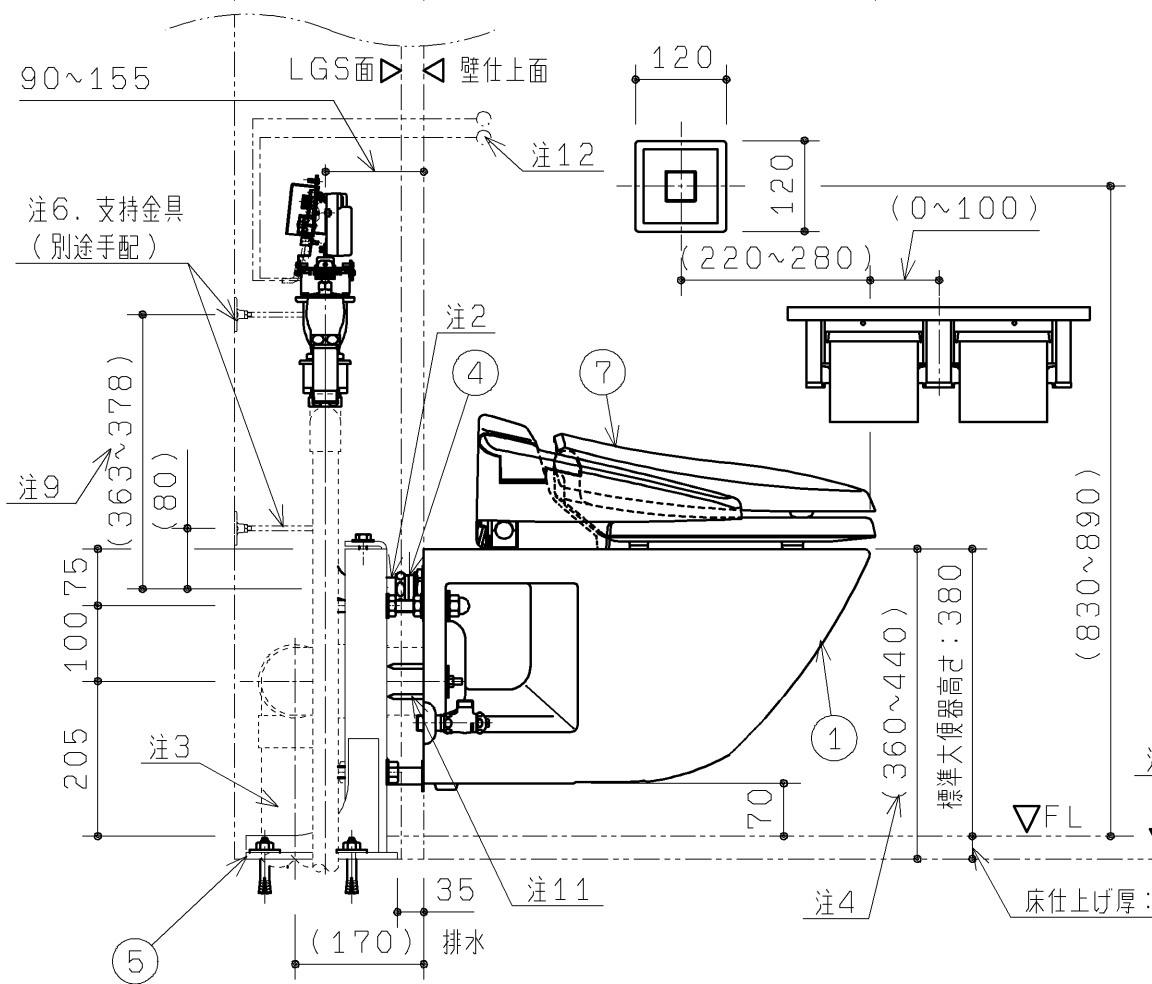
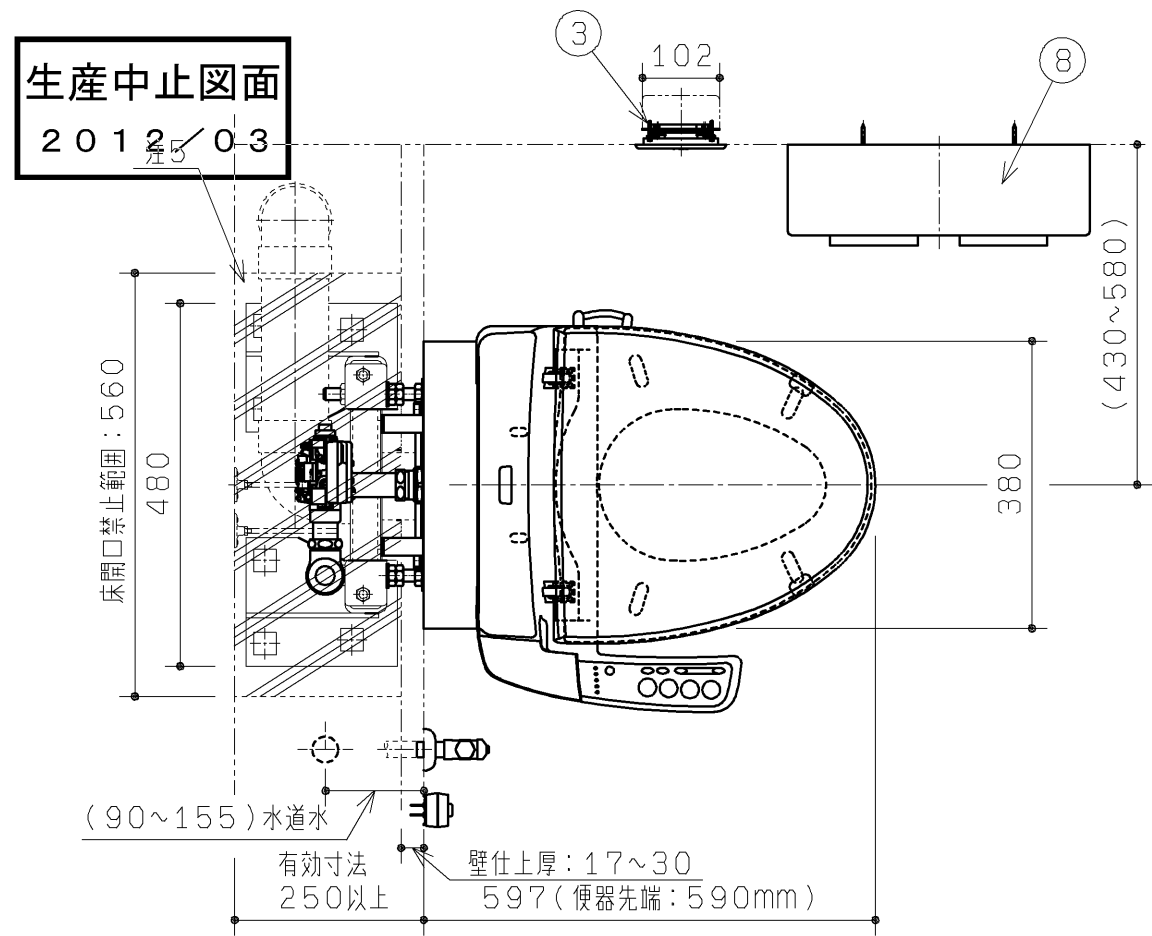


生産中止図面

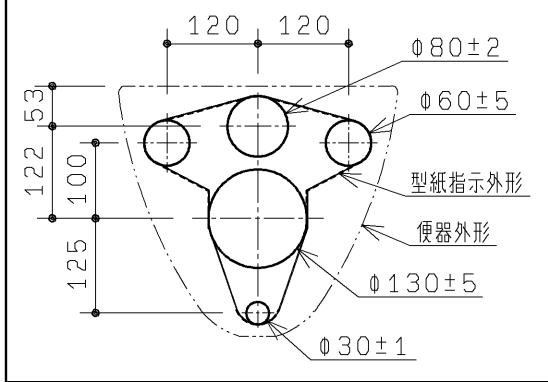
2012/03



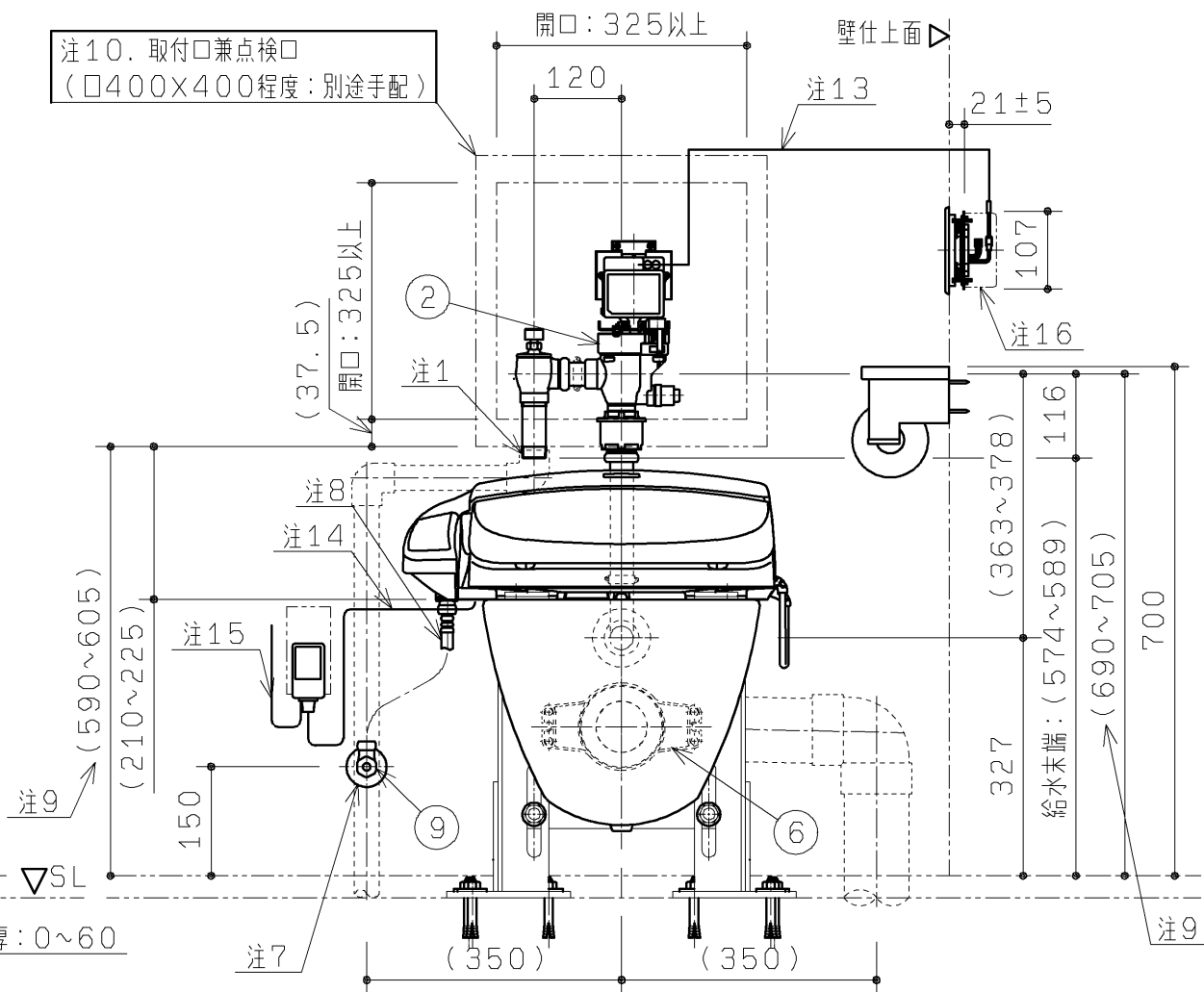
壁掛大便器取付スタンド設置条件

床コンクリート仕様	圧縮強度20.6MPa以上、鉄筋のかぶり厚50mm以上
	養生期間 28日以上（アンカーボルト施工時）
	ベースプレートの周囲40mmの範囲は開口や欠損禁止
パイプスペースの奥行き寸法	壁厚（17～30）を含んだ有効寸法250mm以上
壁仕上厚調整範囲	17mm～30mm（下地の耐水合板を含む）
床仕上厚調整範囲	60mm以内（標準取付け高さの場合）、便器高さUP寸法+仕上厚：60mm以内

便器裏開口形状：スタンド同梱の型紙を利用ください
丸穴開口とする場合、右図を参考に所定位置に
所定径の穴（5個）を加工してください



注10. 取付口兼点検口
（□400×400程度：別途手配）



TOTO		第三角法	単位 mm	名称 腰掛式壁掛大便器セット （水道水仕様／単独排水／タイルセンサスイッチ） 品番 UAXC1NSDN
製図 岡本	検図 松尾	日付 '09.4.7	尺度 1/10	
備考				

器具明細			
品番	番号	品名	数
UAXC1NSDN	—	壁掛大便器セット	1
※1 UAXC1NSDNの内訳			
品番	番号	品名	数
C516P	④	便器（ロングート/フチなしトルネード式）	1
TEF16AX	②	自動フラッシュバルブ（水道水仕様）	1
TES26TE	③	センサスイッチ	1
TU82C32D	④	スパッド	1
UTR855N	⑤	壁掛大便器取付スタンド	1
HP550	⑥	壁フランチ	1
※別売品			
TCF581WR	⑦	洗浄脱臭暖房便座	1
YH60M	⑧	棚付二連紙巻器	1
TH484V3	⑨	専用止水栓	1

※下記、工事区分目安です。現場にて事前に工事区分の確認をしてください。

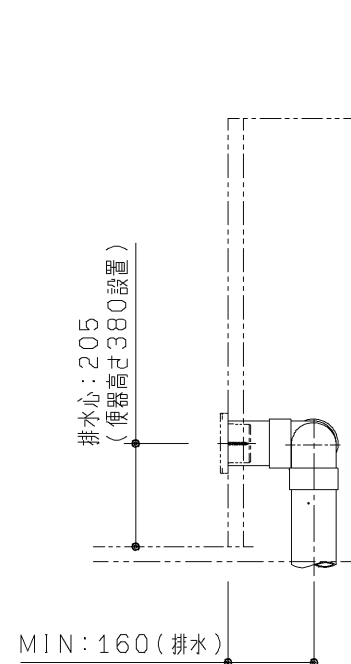
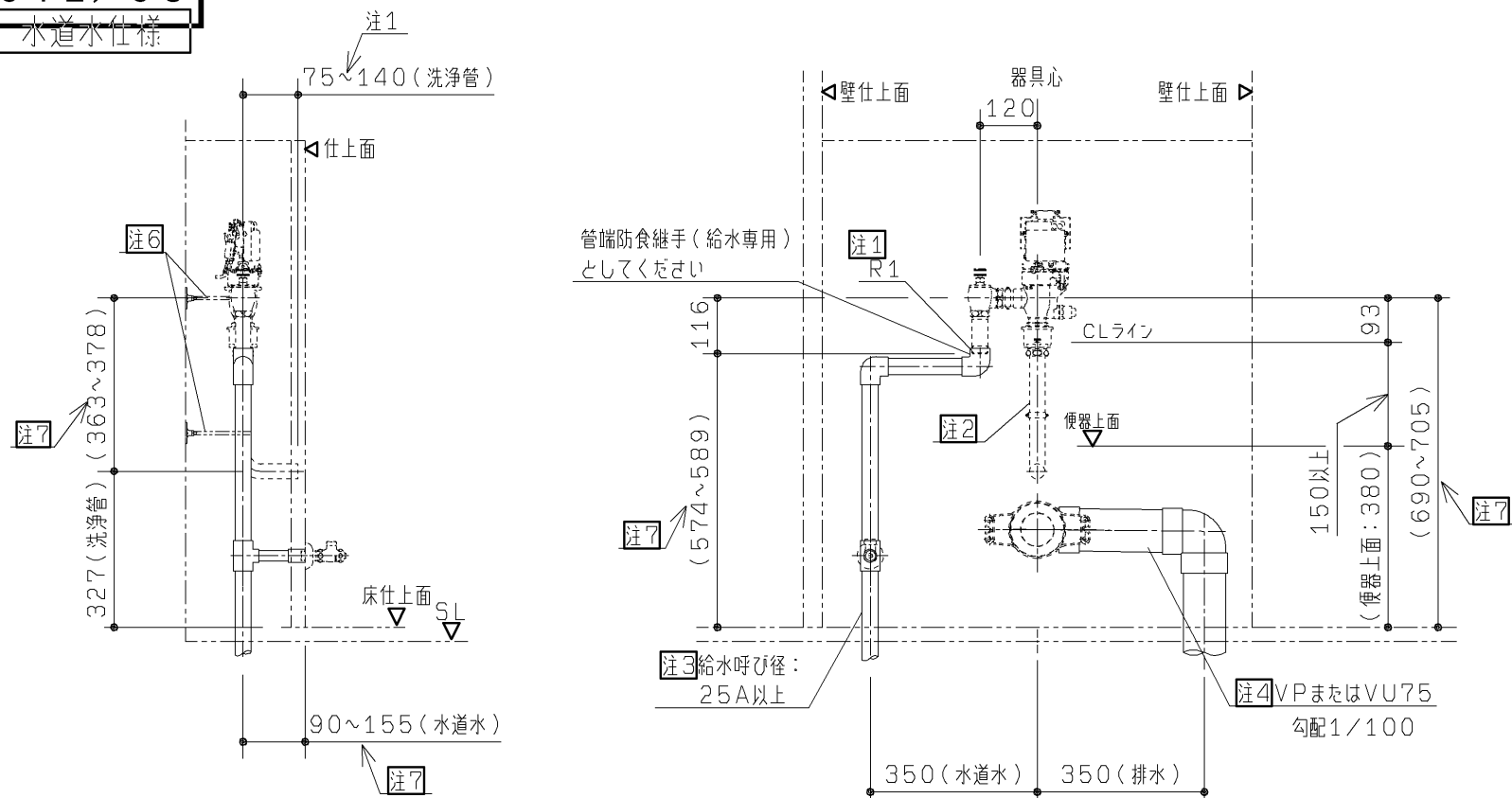
- 注1：ねじサイズ R1 管端防食継手（給水専用）で設備配管と接合ください。
注2：洗浄管：φ31.75（自動フラッシュバルブに含まれます）
注3：排水は末端の呼び径75で準備ください。
注4：便器取付高さは用途に応じて、360～440の範囲で設定が可能です。（標準便器高さ：380mm）
便器高さを設定する時は床仕上げ厚を含めて上記範囲以内としてください。
注5：配管の立ち上げは、床開口禁止範囲（スタンドのベースプレートの周囲40mmの範囲）を避けた位置から取り出してください。
注6：自動フラッシュバルブ本体及び、洗浄管を躯体又はLGSなどから支持を必ず取ってください。
参考：カクダイ（品番：2211・2216）相当品
注7：洗浄脱臭暖房便座給水専用止水栓 ねじサイズR1/2
注8：フレキホース長さ 0.97m
注9：自動フラッシュバルブ設置高さ点検口取付高さは表記の範囲で連動して設定してください。
注：本大便器は、フラッシュバルブ専用です。
注：壁掛便器取付スタンドは下地補強なしで施工できる本便器専用の取付スタンドです。
施工に当たっては、UTR855Nの製品図面と施工説明書をご参照ください。
注：排水管は順勾配1/100を確実に確保してください。
注：給水には最低必要水压0.07MPa（流動時）を確保してください。（最高水压0.75MPa）
注：FV用の給水管径は25A以上としてください。
洗浄脱臭暖房便座用の給水管径は15A以上としてください。
注：給水スパッド締付けの作業性向上が図れる専用工具も用意しております。必要に応じて別途手配ください。
品番：UTR900S

- 注10：点検口（別途）は、施工時に給水スパッドの締付等の器具取付口を兼ねています。壁開口は左に示す寸法で必ず開けてください。
注11：排水フランチをタッピンねじで壁下地に固定する必要がある為、フランチ周りの下地は耐水合板（t12以上）としてください。
注12：電源AC100V 50/60Hz
VVVF2×1.6mmを製品端子台に接続のこと
注13：信号線（10m、スイッチユニットに付属）
埋め込み壁に事前に電線管を通しておきます。
注14：コードの長さ1m
注15：アース
注16：中形四角アウトレットボックス（JIS C8340別途手配）
注：洗浄脱臭暖房便座定格 AC100V-353W 50/60Hz

生産中止図面（設備工事（単独排水））

2012/03

水道水仕様

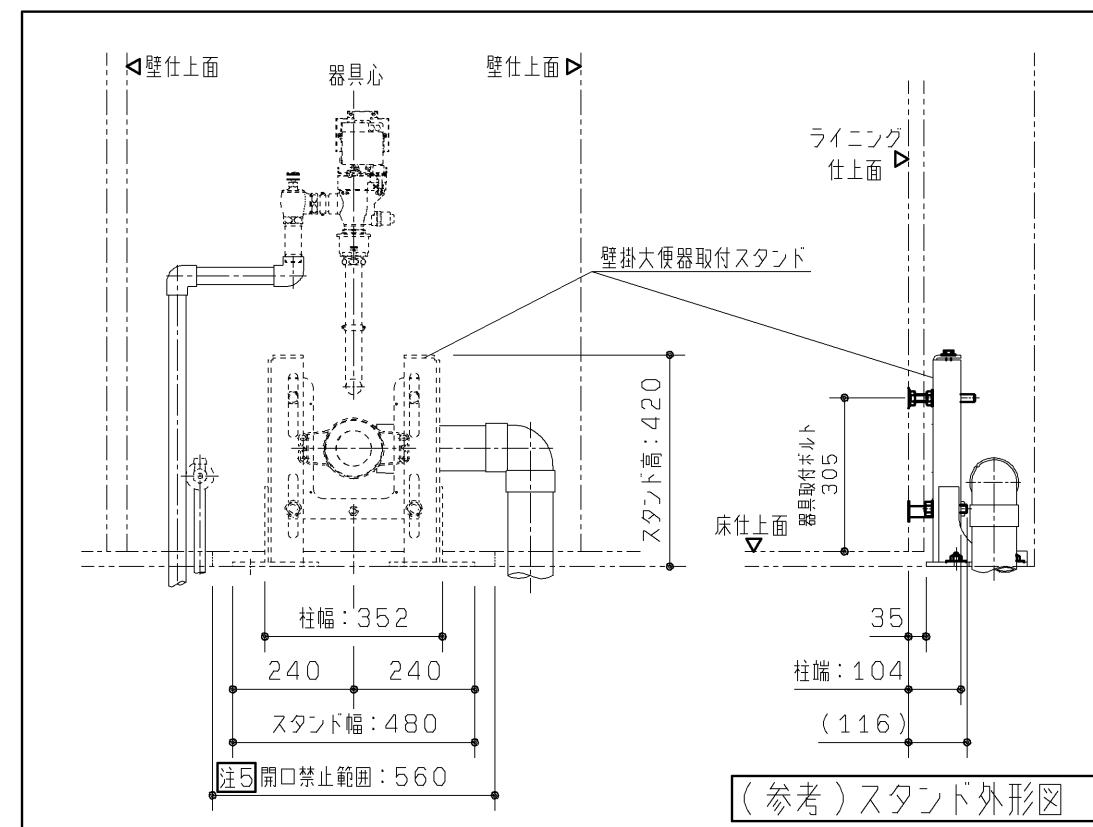
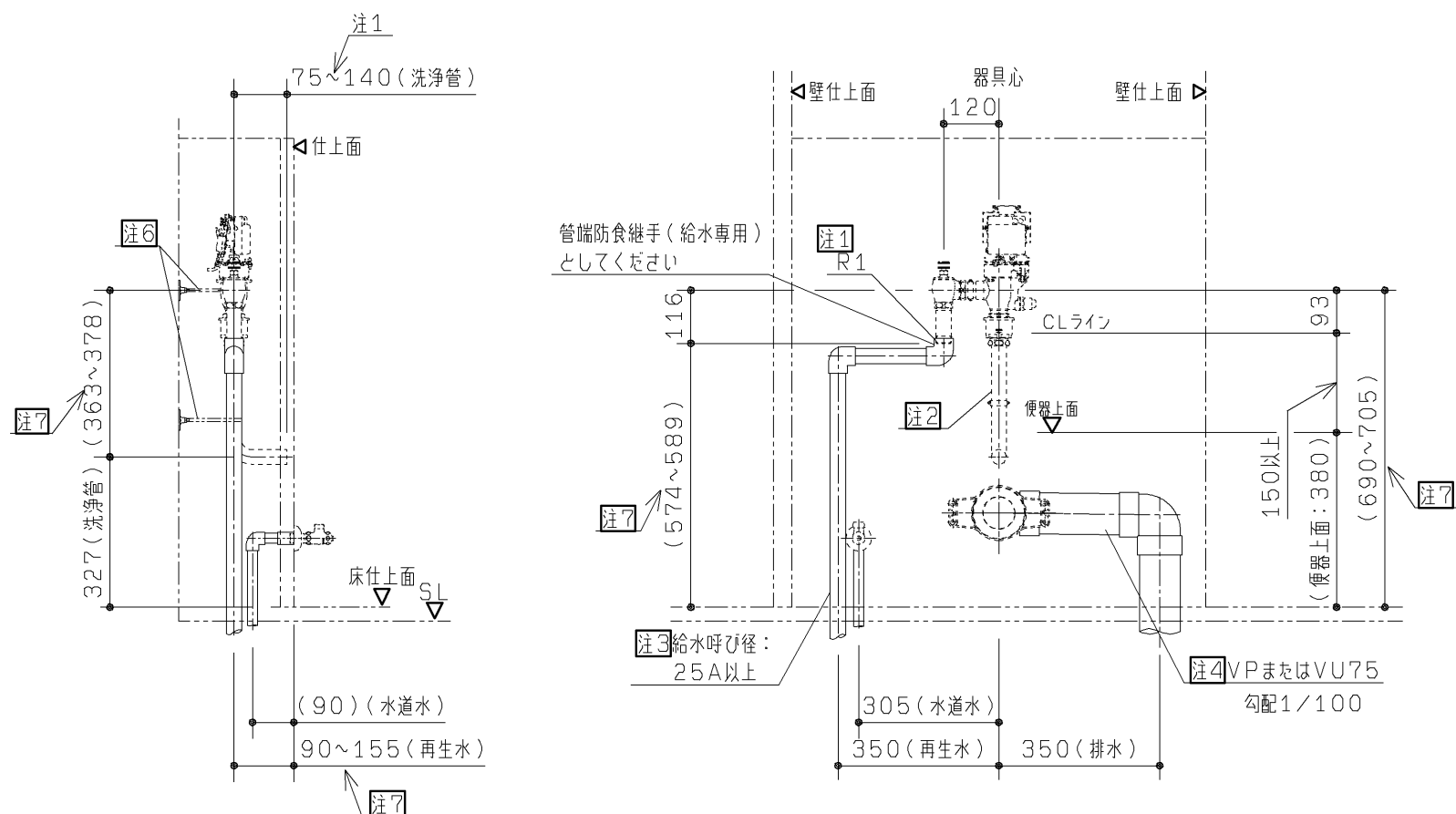


本図は、配管設置の一事例を示す参考図です。
使用する配管材によっては納まらないこともあります
ので、その際は立上げ位置を再設定してください。

- 注1：ねじサイズ R1 銅管以外と接続の場合、必ず絶縁継手を使用してください。
注2：洗浄管：φ31.75（自動フラッシュバルブに含まれます）
注3：FV用の給水管径は25A以上としてください。
注4：排水は末端の呼び径75で準備ください。
注5：配管の立ち上げは、床開口禁止範囲
（スタンドのベースプレートの周囲40mmの範囲）を
避けた位置から取り出ししてください。
注6：自動バルブ本体及び、洗浄管を躯体又は
LGSなどから支持を必ず取ってください。
参考：カクダイ（品番：2211・2216）相当品
注7：フラッシュバルブ同梱洗浄管の長さの範囲で接続可能範囲を
示しています。

- 注：給水には最低必要水压0.07MPa（流動時）を確保して
ください。（最高水压0.75MPa）
注：壁掛大便器取付スタンドの外形図を参考に、スタンドを避ける
位置に配管を立ち上げてください。

再生水仕様



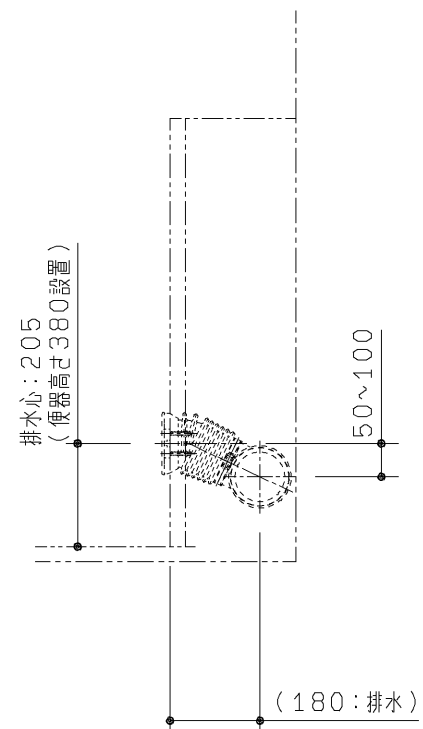
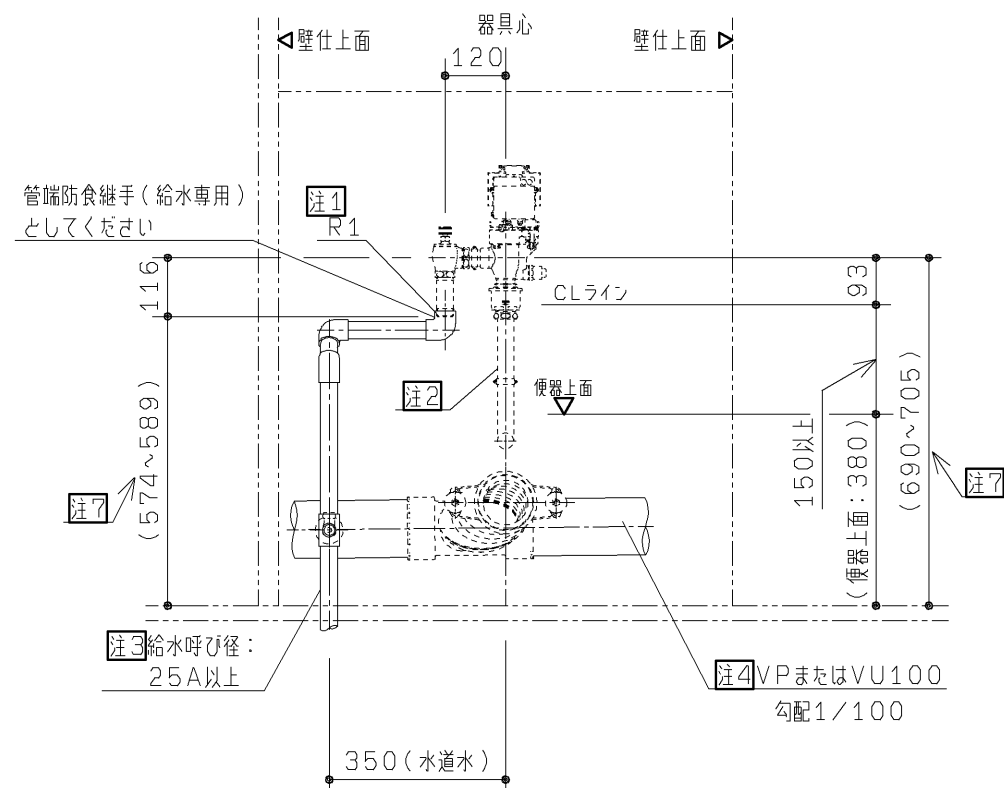
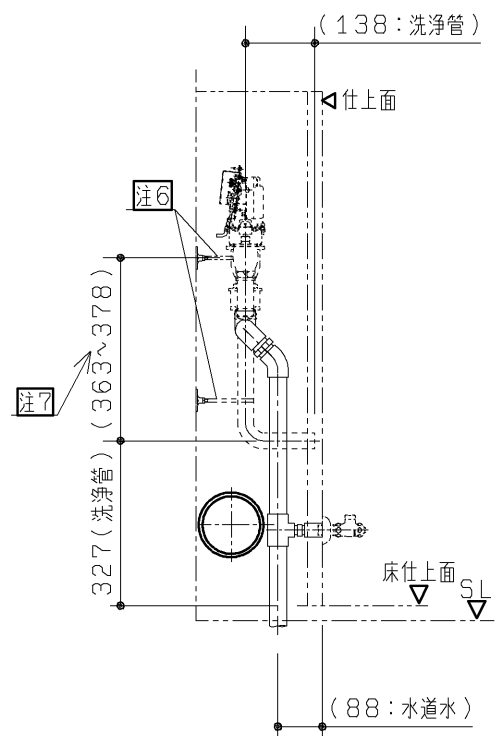
（参考）スタンド外形図

TOTO		第三角法	単位 mm	名称
製図 岡本	検図 松尾	日付 09.4.7	尺度 1:15	壁掛6L大便器セット 事前施工情報
備考 設備工事（単独排水）		(1/3)		品番

生産中止図面（設備工事（横引排水））

2012/03

水道水仕様

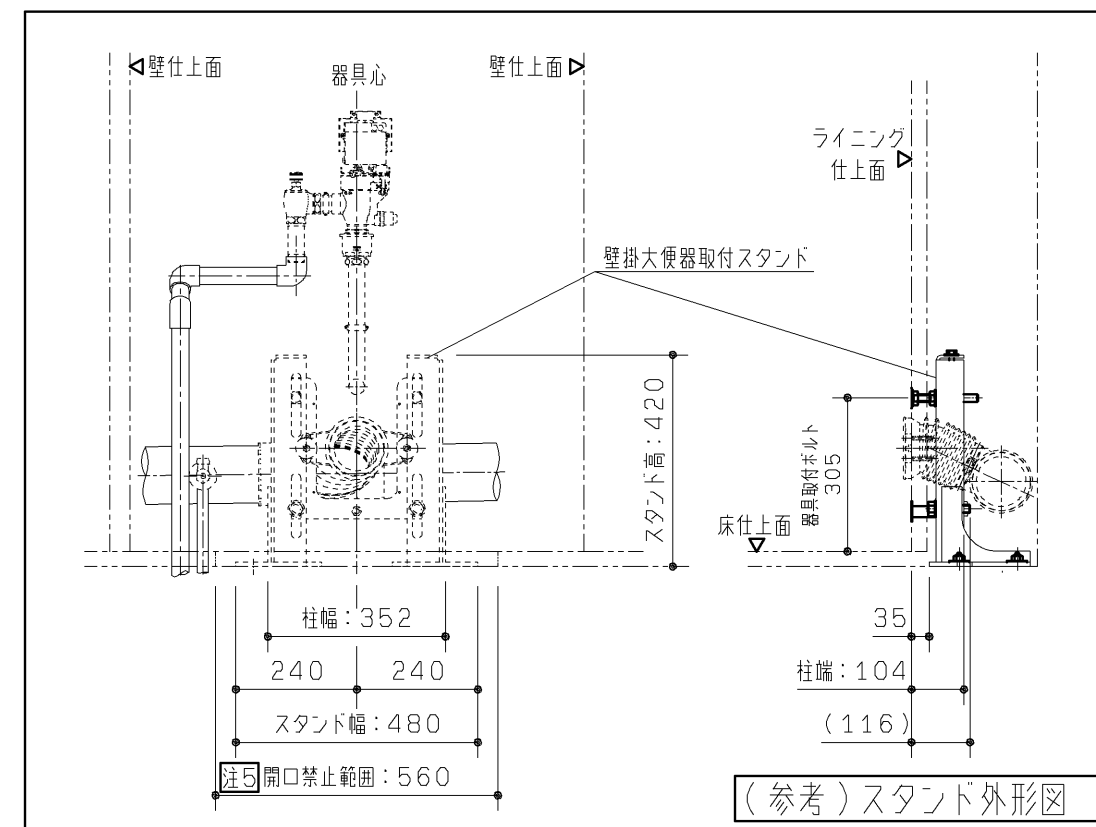
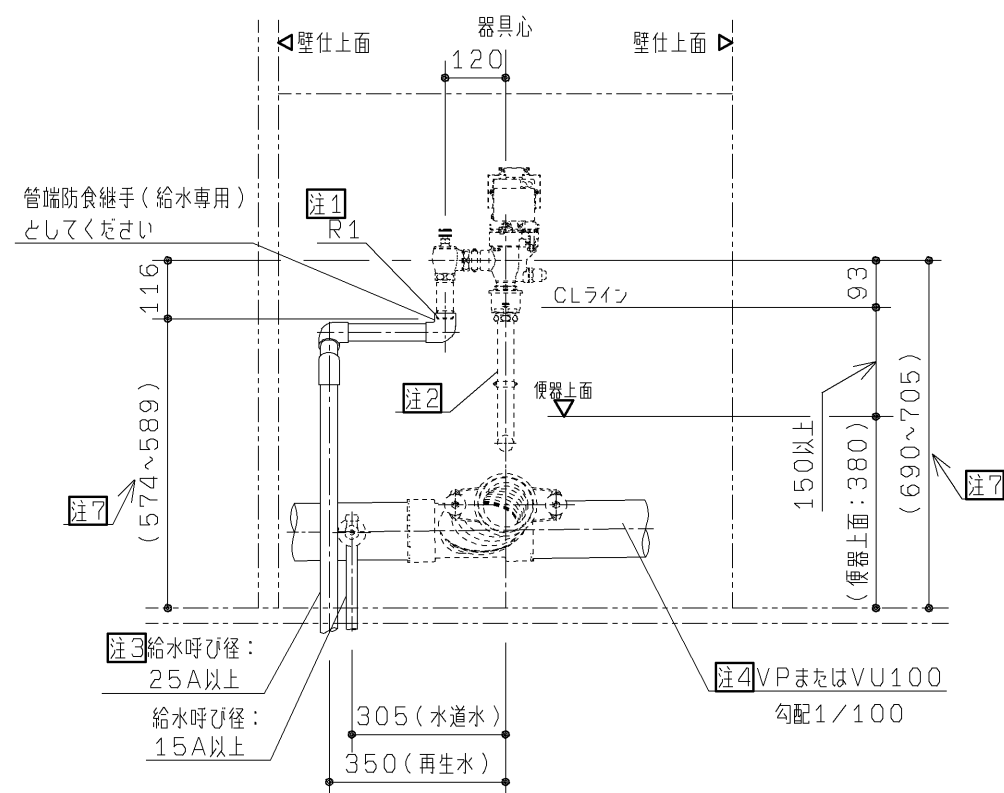
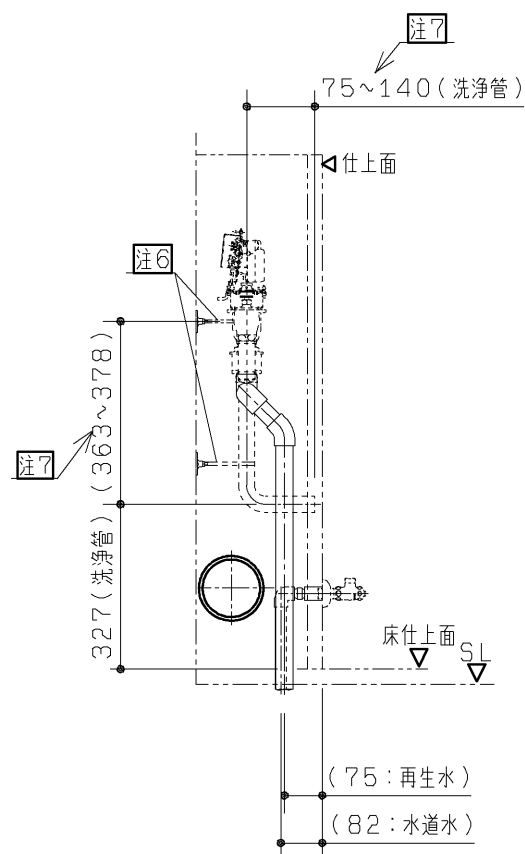


本図は、配管設置の一事例を示す参考図です。
使用する配管材によっては納まらないこともありますので、その際は立上げ位置を再設定してください。

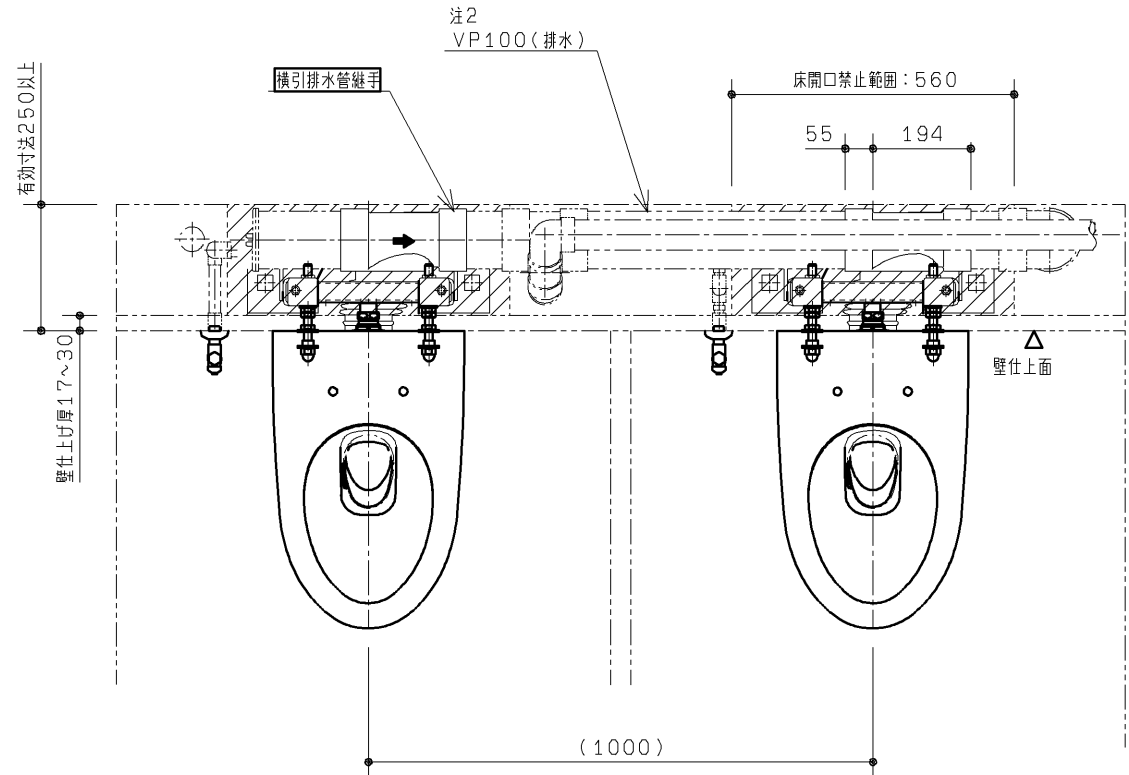
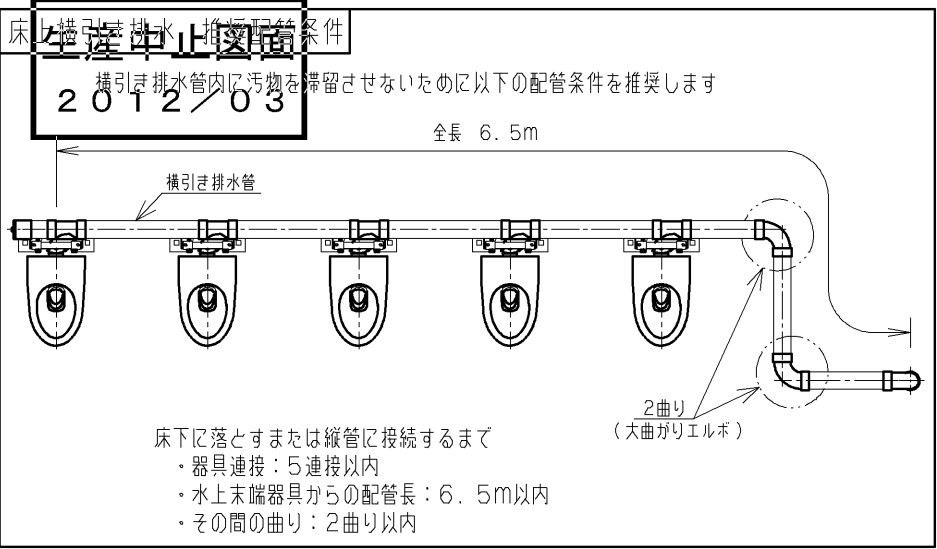
- 注1: ねじサイズ R1 銅管以外と投続の場合、必ず絶縁継手を使用してください。
注2: 洗淨管: φ31.75 (自動フラッシュバルブに含まれます)
注3: FV用の給水管径は25A以上としてください。
注4: 排水は末端の呼び径100で準備ください。
注5: 配管の立ち上げは、床開口禁止範囲 (スタンドのベースプレートの周囲40mmの範囲) を避けた位置から取り出ししてください。
注6: 自動バルブ本体及び、洗淨管を躯体又はLGSなどから支持を必ず取ってください。
参考: カクダイ (品番: 2211・2216) 相当品
注7: フラッシュバルブ同梱洗淨管の長さの範囲で投続可能範囲を示しています。

- 注: 給水には最低必要水压0.07MPa (流動時) を確保してください。(最高水压0.75MPa)
注: 壁掛大便器取付スタンドの外形図を参考に、スタンドを選ぶ位置に配管を立ち上げてください。

再生水仕様



TOTO		第三角法	単位 mm	名称
製図 岡本	検図 松尾	日付 09.4.1	尺度 1:15	壁掛6L大便器セット 事前施工情報
備考 設備工事（横引排水）		(2/3)		品番



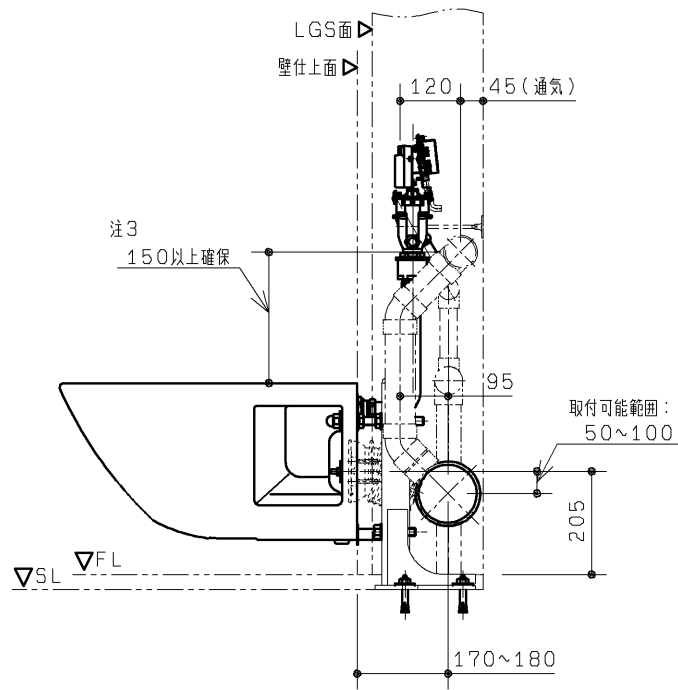
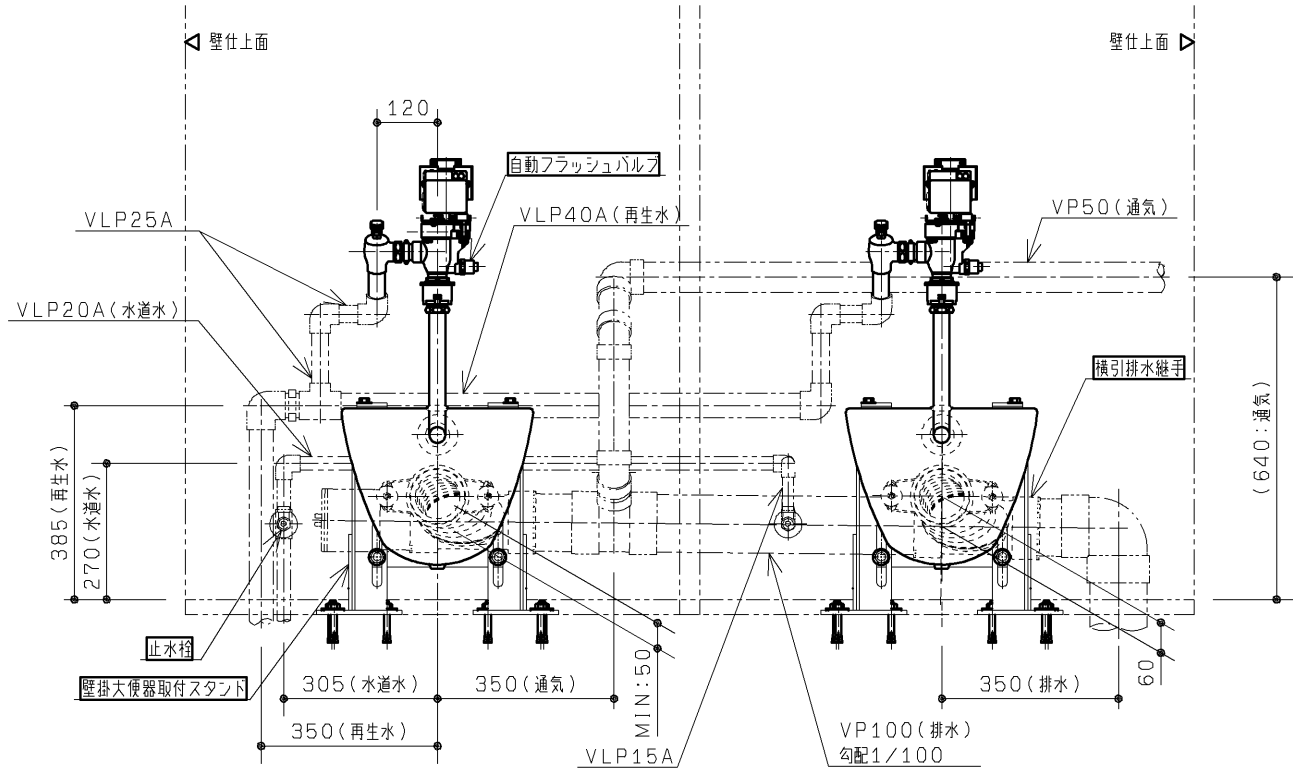
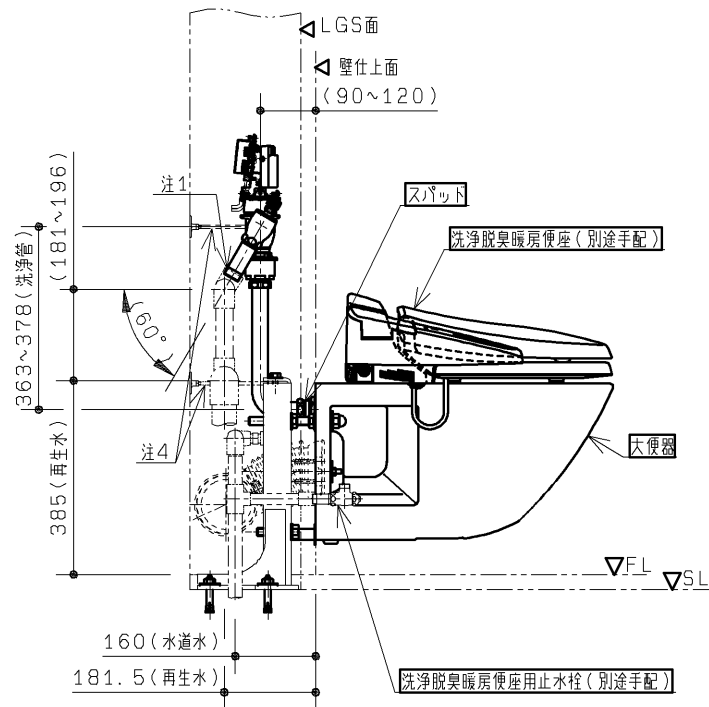
◆排水管を床上横引きする場合、器具は1系統5連接までとしてください。

◆配管は躯体又はLGSなどに固定してください。

※  部に配管が位置しないようにしてください

◆壁掛大便器取付スタンド のベースプレート周囲40mmの範囲を避けた位置から配管を取出してください。
この範囲内に床コンクリートの開口や欠損があるとアンカーボルトの必要強度が得られません。

- 注1：自動フラッシュバルブ止水栓
ねじサイズ R1 銅管以外と接続の場合、必ず絶縁継手を使用してください。
- 注2：排水管は順勾配1/100を確実に確保してください。
- 注3：通気管はあふれ縁から150mm以上上方で
通気立管と接続してください。
- 注4：自動フラッシュバルブ本体及び、洗浄管を躯体又はLGSなどから支持を
必ず取ってください。
参考：カクダイ(品番：2211・2216)相当品
- 注：給水には最低必要水压0.07MPa(流動時)を確保してください。(最高水压0.75MPa)
- 注：必要に応じて防火区画貫通部処理を行ってください。



参考図

TOTO		第三角法	単位 mm	名称
製図 岡本	検図 松尾	日付 09.12.8	尺度 1:15	壁掛6L大便器セット 床上横引き配管例 (再生水仕様)
備考		設備工事(横引給排水)	(3/3)	品番